

本郷中央地区 社協だより 第 72 号

発行日 令和 5 年 10 月 28 日

発行責任者 本郷中央地区



社会福祉協議会

会長 竹谷 康生

第 44 回敬老のつどいが開催されました

敬老のつどい実行委員会は、本郷中央地区にお住まいのご高齢の方々のご健勝を祝うため、9月18日敬老の日に栄公会堂にて敬老のつどいを開催しました。毎年この時期の恒例行事になっており、今年で第44回となります。

長寿のお祝いとして花束を贈呈する14名(96~90歳)のご長寿の方々はもちろんのこと、各町内会自治会からの参加者、およびスタッフを入れて総勢約430名の方々にお集まり頂き、ご長寿者のお祝いをしました。

敬老のつどいは二部構成になっており、第一部は少々お堅く、栄区長・堀口和美様と栄区社会福祉協議会長・田中健次様からお祝いのお言葉を賜り、続いて出席頂いたご来賓の方々と本郷中央地区の町内会自治会長をご紹介します。

第二部はお集まり頂いた方々に少しでも楽しんでもらおうという趣旨で、毎年内容を変えて実施しています。今年は三大歌謡ショーと桂台中学校吹奏楽部による演奏を企画しました。



三大歌謡ショーは過去一世を風靡したボニージャックスさん、そして童謡や演歌を長年唄われている大庭照子さんと高田真理さんをお迎えしました。ただボニージャックスさんは現在3名で活動していますが、皆さんご高齢ということもあり、1名は直前の転倒による負傷で欠席、もう1名も当日朝の発熱で欠席し、テナーの吉田秀行さんお1名のみでの参加がたいへん残念でした。ただその欠席された方の穴を埋めるべく、お三方が舞台上で一緒に唄うというめったに見られない光景があり、最後の曲目である美空ひばりの「川の流れのように」では来場者全員で大合唱、これには大いに感動しました。

続いて桂台中学校の吹奏楽部の演奏は、ご長寿の方に配慮して、昔流行った曲を選曲して、来場者の方々を楽しませてくれました。きっと来場者の皆さんは、若い力を感じとってくれたと思います。



来年は9/16(祝)に開催します。ご長寿の皆さま、また来年会場でお会いしましょう！

令和 5 年度オープン研修会 開催のご報告

本郷中央地区社会福祉協議会(以下、地区社協という)では、前年度に続いてオープン研修会を開催しました。今回も本中連・町内会自治会の新任の会長・副会長と地区社協の構成団体の新任の各会長・副会長や構成員を対象として、7月29日(土)に SAKAESTA 多目的ホールにおいて 28 名が参加し、以下の次第に沿って実施しました。

説明はスライドと手元資料により行い、後々の参考資料となるように配慮しました。



次第 【発表者】

- I. 開会の挨拶・主旨説明【折田 事務局長】
- II. 基調講演【糸川 次席理事】
「地区社協の基を知ろう」
～全国社協から地区社協まで～
- III. 地区社協の活動と周りの関連団体との連携
【糸川 次席理事】
 1. 地区社協の組織機能と主な活動のしくみ
 2. 周りの関連団体との位置付けと連携・概念を知る
 - (1) 栄区社会福祉協議会
 - (2) 本郷中央連合町内会自治会(本中連)
 - (3) 本郷中央地区支えあい連絡会(地区支連)
- IV. 質疑応答・意見交換【大橋 副会長】
- V. 謝辞・閉会の挨拶【竹谷 会長】



竹谷 会長



大橋 副会長



糸川 次席理事

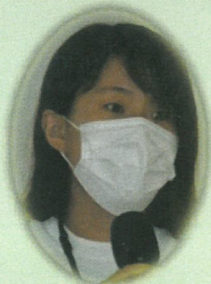
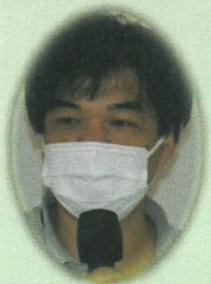


折田事務局長

受講者からは質問や意見が多数あり、「今まで、漠然と把握していた地区社協の在り方がよく判った。」等の他に、「各部会や理事会の運営に関する要望」などもあり、今後、地区社協の各部会や理事会に展開しつつ、課題とし検討を進めています。

次年度もこの形で開催する予定ですので、「地区社協のことがよく判らない、詳しく知りたい」等の意欲のある方は、是非とも次の機会にご参加ください。

なお栄区社会福祉協議会から、井上事務局次長(写真左)、荻野主事(写真右)にもご臨席賜りました。この場を借りまして、御礼申し上げます。



令和 5 年度助成団体交流会 開催のご報告

本郷中央地区社会福祉協議会(以下、地区社協という)では、福祉保健活動に携わっている 8 つの団体に対して、活動助成費を支給・援助しています。

地区社協の事業部会がこれらの団体に声を掛けて7月14日(金)に、団体間の情報交換を目的に桂台地域ケアプラザにて助成団体との交流会を開催しました。なお地区社協の上部団体である栄区社会福祉協議会から荻野主事にも出席賜りました。8 団体から 12 名が出席し、地区社協スタッフ入れて計 20 名で活発に様々な意見交換ができました。



コロナ禍でしばらく活動を休止していた団体も、徐々にいままでのイベントを復活させ、また飲食も徐々に再開し、各団体は苦勞しながらも平時の活動に戻していく方向を模索している様子でした。主なご意見を次に記します。

- ◆活動助成費については、少額とはいえないへん助かっており、なおかつ今年度は増額すること、たいへん有難いと思っています。
- ◆年度終わりに提出する報告書の項目が詳細すぎて記入しにくい。他の補助金の報告書とできれば書式を統一してもらえると助かります。
- ◆今年度はこれからもどしどし新しいイベントを開催していく予定です。詳細が決まったら情報共有します。



今回の交流会ではある団体から、「今年で設立 20 年を迎え、今までご支援頂いた方、そしてイベントに参加して下さった方々のおかげだと思っています。これからも、もっともっと継続的に活動していきます。」という話がありました。たいへん素晴らしいことであり、このような団体には地区社協としても最大限の応援をしたいと考えています。

現在助成対象活動団体に名乗りをあげていない団体も、ぜひご応募のほどお待ちしております。なお現在は、助成対象活動団体の新規募集受付は締切りました。募集時期がきましたら本誌にてお知らせしますのでしばらくお待ちください。



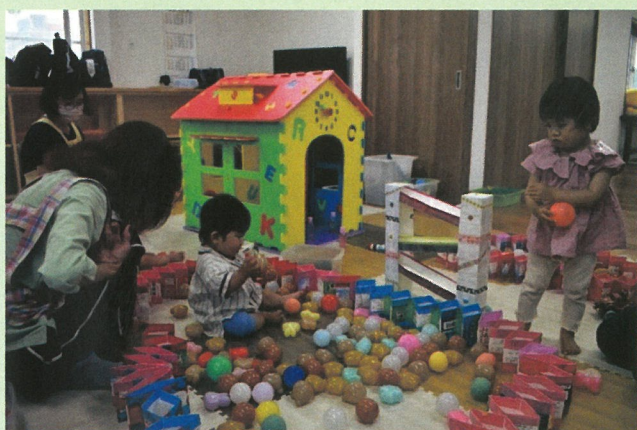
助成対象活動団体の活動内容～げんき広場～

げんき広場は2015年に立ち上げ、未就学児の親子の居場所・遊び場・交流の場として、毎月第3金曜日に桂台自治会館（栄区桂台西1丁目5-26）で開催しています。しかもただ単に遊び場の提供だけでなく、現役保育士が考えた工作教室はお子さんはもちろんお母さま方にも大好評です。取材した5月はかたつむりの壁掛けとカエルのおもちゃを作っていました。



コロナ前はお弁当を持ち寄って10～14時くらいまで開催していましたが、いま現在は会場内の飲食禁止措置が継続されているため、10～12時の短時間での開催となっています。お持ち帰りのお菓子代として、参加費を親子で100円頂いています。

おおむね参加者は子ども10名前後、お母さん8名前後、スタッフ7名の毎回総勢25名ほどが集まり、子ども達は自分の興味のあるおもちゃで遊ぶ子、工作に夢中で取り組む子、お母さん達はそれを見守りながらお母さん同士での情報交換や、保育士への子育て相談など、ワイワイにぎやかな集まりです。



ご興味のある方はフラっとお越し頂いても構いませんし、次の問い合わせ先にメールや電話などで様子を聞いて頂いても構いません。お気軽にお越し下さい。お待ちしております。

代表 白水 嘉子（しろうず よしこ）

☎ 090-7423-9513

✉ yoshiko4157shiro1157@docomo.ne.jp



賛助会員のお申込みは通年受付しています。なんなりとご連絡・ご相談、お待ちしております。

事務局 折田 藍子 ☎ 045-512-1502 ✉ hongo.chikushakyo@gmail.com

編集後記

私事ですが、家内がコロナに感染してしまいました。濃厚接触者の制限解除やマスク制限の緩和など、いっどこで感染してもおかしくありません。三密の環境のなかでは今までどおりご注意ください！

編集委員：菊池康夫、桑川賢二、折田藍子、長沼勲、佐藤美知子、山井俊昭、山田守